



ボーイスカウト八尾7団カブ隊

2017年 8月プログラム

トラスカ

やおカブ紀行



テーマ：宇宙小戦争（リトルスターウォーズ）

生活目標：一生懸命頑張ります。

今月の歌：ひとひの終わり（P. 75）

団歌2番・5番



本当にきみってやつは・・・いつもの持ち物準備できたか～

カブブック・チャレンジ章・カブ歌集・筆記用具・メモ帳・ボード
新聞紙（2～3枚）・軍手・ロープ・ビニール袋（名前を書いて3枚くらい）
ポンチョ（カッパ）・折りたたみ傘・しきもの・プラスチックのコップ
活動の前日に必ず自分でチェックするんだよ！！

みんなもよく知ってると思いますが、
ボーイスカウトは、『ロバート・ベーデン＝パウエル』が
青少年の健全育成を目指して始めた運動です。

1907年の実験キャンプののちに、1908年に創設されました。
1908年には『スカウティング・フォア・ボーイズ』が出版され

ベストセラーとなりました。

同じく1908年に日本にボーイスカウトの運動が伝わってきました。

1913年に東京で『少年軍』が設立され、1916年『少年団日本連盟』が発足されました。

この年、京都少年義勇軍によって日本ボーイスカウトによる
初野営（キャンプ）が琵琶湖で行われました。

1920年には第一回世界ジャンボリーがイギリスのロンドン・オリンピックにて行われました。

1923年、関東大震災。少年団日本連盟による救援・奉仕活動が行われる。

1949年、全日本ボーイスカウト大会（後の日本ジャンボリー）が皇居前広場で開催。

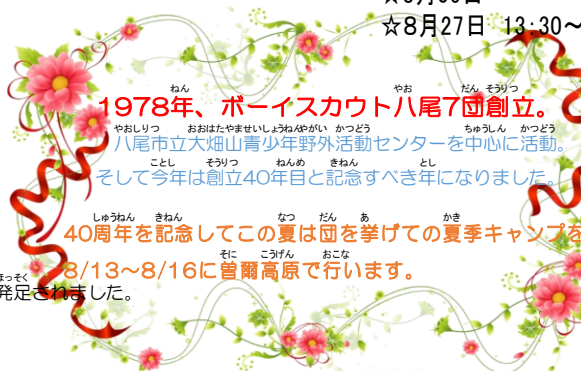
1951年、菊・雫・富士スカウトができる。

1952年、カブ・シニア・ローバーの各プログラムを制定。

1956年、第一回日本ジャンボリーが軽井沢にて開催。

1972年、ボーイスカウト日本連盟創立50周年。沖縄のボーイスカウトが日本連盟へ正式移管される。

等々、沢山の歴史を積み重ね世界中でボーイスカウト活動が行われる中・・・



1978年、ボーイスカウト八尾7団創立。

八尾市立大畑山青少年野外活動センターを中心に活動。

そして今年が創立40年目と記念すべき年になりました。

40周年を記念してこの夏は団を挙げての夏季キャンプを

8/13～8/16に普爾高原で行います。



日	活動時間 集合場所	活動場所	活動内容	持ち物 服装
7月・8月で 3回	集合 後日連絡 ↓	南高コミセン	(組集) 夏季舎営入ツツ練習	いつもの持ち物 水筒 台本・各自必要なもの 活動着 チーフ・カブキャップ
8/13 (土) ↓ 8/16 (水)	集合 解散	夏季舎営 《国立 普爾青少年自然の家》 夏季舎営のしおりを見て ちゃんと自分で用意するんだ～～！！	八尾7団40周年すてきなキャンプ	いつもの持ち物 カブ弁・水筒 タオル スパーの袋（名前） 汚れてもよい服 チーフ・カブキャップ
8/27 (日)	集合 アトラッド 駐車場 4:30 ↓ 解散 アトラッド 駐車場 11:30	大阪湾 5:30～10:30	(隊集) 海釣り チャレンジ章	いつもの持ち物 カブ弁・水筒 タオル スパーの袋（名前） 汚れてもよい服 チーフ・カブキャップ

☆8月06日 親子クッキング実験
☆8月27日 13:30～17:00 リーダー会議（南高コミセン）

ススキでとても有名なところですが、みんなは普爾高原聞いたことありますか？

奈良県の東北端に位置し、三重県に接する村です。

日本300名山の一つ俱留尊山から、亀の背に似た亀山を結ぶ西麓（西側のふもと）に広がるのが
普爾高原です。

春から夏にかけては一面に青いじゅうたんが敷かれたような姿を見せます。

秋にはススキの穂が日差しを浴びて銀色・金色に輝きます。

この普爾高原のススキは昔から屋根の材料として使われていましたが、

トタンや、かわらが普及したことにより年々使用が減っていき、杉などの植林が進められましたが、

この村では景観が変わるのは忍びなく思い、ススキの草原を奈良県に保護してもらうことになりました。

ススキで一面に覆われた草原で、毎年3月に山焼きが行われます。

山焼きで発生した灰は肥料として使われます。

春・夏・秋・冬季節によって違う顔を持つ普爾高原、色々な季節に訪れてみたいですね。

また、村の大半を占める山地は室生火山群に属し、西側の岩肌もあらわな鎧岳・兜岳・屏風岩などの
珍しい柱状節理（岩石中に発達した五角形ないし六角形の柱状の割れ目）は国の天然記念物に指定されています。

